

あびあらし
夏風



5月から7月にかけて、木々の青葉、青田の稲、茂った青草など、万緑を揺るがして吹き渡る風のこと。

緑の色や香りを運ぶような爽やかな風とは異なり、勢いのあるやや強い風をいいます。

別名「夏風」。広大なねぎ畑を揺らすように大風が吹き、一気にエネルギーをもらえるような、自然のパワーを感じます。



日増しに、収穫の様もカラッとしてみなさまも感じることが多くなります。それゆえに、暑くなってきよともっと涼しくなってスツと伸びゆくおなじみに心強く感じることが多くなります。

先月、竣工式を行った京都北部の丹後農場。春に産地づくりを開始して、いよいよ今月から収穫・出荷が始まります。京丹後は、涼しくて生育環境も良好です！

古都・事・言 3つの「こと」を伝えます
ことねぎだより

今月のことねぎ

今月、みなさまにお届けする九条ねぎが京都でどのように育ったものなのか、物語（事）を少しでも知っていただき、より美味しく召し上がっていただければと思います。

お待ちしました！夏葱の季節、夏葱のお届けです

7月からお届けするのは、主に美山・亀岡で育ったねぎたち。

美山・亀岡では、今年から新たに3名の農人が担当圃場を割り当てられ、栽培管理の責任を担う社員農家となっており、彼らの初めて育てたねぎが収穫を迎えます。4月から作付けを



行い6月は例年にない早い梅雨入り、収穫まで生育が不安な面もありましたが、良い栽培環境に恵まれ、品質の良いねぎをお届けすることができます。また、「海の京都」の丹後農場の収穫も開始、冷涼な自然で育った夏葱たちを順次お届けしてまいります。

NO.170

2021年7月号

TEL: 075-601-0668



農人たちの畑での作業の様子、THE 農業！の現場の「こと」を発信

夏の到来、今年も京都の猛暑を乗り切ります！

6月中旬頃から京都市内では30度を超えて湿気も多く、農人たちの体力は奪われ、日によってはバテしてしまう日もありました。ただ、そんな中でも笑顔と他愛もない話ができる良いメンバーが揃っており、みんなで励まし合いながらこれから来る本格的な夏に向けて、体力づくりを行っています！

また、今年の春に京都府立農業大学校から入社した農人の後輩の方が職場体験に来られる機会が増えました！先輩から仕事内容を教えたり、職場の雰囲気も感じてもらったり。農業法人で働くこと、楽しいことやしんどいことも含め、農業のリアルな現場を実感してもらっています。



みんな軽々と持っていたけれど... 重い!!



とにかく広い丹後農場!!
満を持して、収穫が始まります。

今年こそ台風対策（BCP）発揮！意気込み十分

7月からは、いよいよ台風シーズン。昨年は運良く上陸はゼロ、大きな被害はありませんでした。しかし、上陸前に畑にあるねぎを一齐に収穫する取り組みを実践的に行い、今年で2年目になります。必ず台風がやってくるので、昨年の課題をひとつずつ改善し、台風上陸でも被害はゼロ！を目指します。さらに、夏の産地として新しく増えた北部の丹後農場とともに、収穫したねぎを貯蔵できる保管庫も併設。備えは万全、乗り越えていきます！！